

平成22年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1472201670	事業の開始年月日	平成16年4月1日
		指定年月日	平成16年4月1日
法人名	株式会社 湘南みどり園		
事業所名	グループホーム花樹		
所在地	(〒251-0003) 神奈川県藤沢市柄沢372		
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		工外	2工外
自己評価作成日	平成23年1月24日	評価結果 市町村受理日	平成23年5月18日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

- ・『ゆっくりのこころ』を理念に掲げ、個々の利用者の生活ベースに合わせたケアを実践しています。
- ・利用者の方々と共に食事をつくり、初詣、節分、雛祭りなど各種行事を行い、普通の当たり前の生活習慣を取り入れています。
- ・健康管理面では利用者の能力に合わせた散歩や買い物等の外出による生活リハビリを促し、野菜・魚を多く取り入れた食事づくりを行っています。
- ・月に2回の訪問診療と何時でも対応していただける医療体制で利用者の健康管理を行っています。
- ・園芸療法の活動を通じて日々草花に接して季節感を感じ、ボランティアや学生さんなどと触れ合い会話する楽しみをもっています。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	神奈川県 横浜市 中区 本町 2-10 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成23年2月18日	評価機関 評価決定日	平成23年5月2日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

【事業所の概要】

この事業所はJR藤沢駅よりバスで10分、藤が岡中学前バス停から10分ほどの閑静な分譲住宅地の一角に位置している。建物は木造2階建てで、内部はバリアフリーでエレベーターが設置されている。職員は、開設時からの理念である「ゆっくりのこころ」のもとに家庭的な雰囲気の中で利用者一人ひとりの生活のリズムに合わせ自分らしい生活が送れるようにサポートしている。

【医療連携体制】

利用者の健康については、かかりつけ医や協力医療機関の医師から適切な医療が受けられるように支援している。入居以前からのかかりつけ医を受診には職員が同行する場合もあり、診察の際には本人のホームでの状況を伝えている。受診結果は家族と共有している。利用者の心身の変化や緊急時には24時間相談や対応が出来る体制がある。重度化や看取りについても、「重度化した場合における対応に係る指針」や「看取りに関する同意書」を作成し、本人や家族に看取りを行う方針と内容について説明し、同意書を受け取っている。入居後には、家族の要望によっていつでも医師、看護師、職員と話し合いを行い、対応できる体制にある。

【園芸療法】

敷地内には、花壇や家庭菜園を設け、年間の「花樹・園芸療法活動表」を作成し、専門学校生徒、地域のボランティアの指導のもとに野菜や草花の種まき、みずやり、草取りをしている。一連の作業を利用者や職員と一緒にやり、土に親しみ、植物の成長に触れることにより、利用者のQOLの維持・向上、生活意欲やコミュニケーション能力の向上を目指している。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム花樹
ユニット名	花樹 1階

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 か情報を共有している		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	利用者の方々が安心して楽しく調和のとれた生活が送れるよう「ゆっくりのこころ」という理念を掲げて実践している	理念は玄関と事務室に掲示し、管理者は、入職時に理念について説明している。職員は全体会議で理念について話し合いその理念を共有し、日々の介護の実践につなげている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域自治会活動や散歩時に地域住民に挨拶したり、防災訓練に利用者が参加し花火大会等の行事に地域住民が参加されて交流を図るなどをしている	自治会に加入し、地域の夏祭り、防災訓練、リサイクル活動に参加している。事業所の花火大会には近隣の子供を招き交流をしている。敷地内にゴミの集積所を設け利用してもらっている。	地域の幼稚園、小学校児童と交流したり、中・高校生の体験学習を受け入れ、利用者も地域の一員として日常的に交流できることを期待したい。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	複数事業連携メンバーの一員として地域住民に認知症ケア講座等を開催し認知症の理解や支援方法の理解を薦めている		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に運営推進会議を開催して、意見・提案などを取り入れサービス向上に活かしている	会議は、3ヶ月に1回開催し、事業所の現状や活動状況について報告し、意見交換して、助言をもらいサービスの質の向上に活かしている。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	毎月のグループホーム連絡会の場などで市町村担当者と情報交換と、必要に応じて密接な連絡を行っている	市の介護保険課の担当者に事業所の状況やケアサービスについて相談や意見交換をしている。また、介護保険関係の更新手続きの代行やオムツの補助金請求を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアの実践に向け努力している 玄関は夜間以外開放されている 2階階段の鍵については家族に根拠を説明した上で施錠を行っている	事業所では、社内研修において「身体拘束ゼロへの手引き」により職員に周知している。日中は玄関、居室の施錠はしていない。2階のユニットの出入り口は利用者の安全面から家族に説明して施錠している。	2階の出入口については、職員の見守りと連携により危険防止の体制を維持したうえで、家族とも話し合い、可能な限り開錠することを期待したい。
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の研修に参加したり、マニュアルを職員に回覧して理解を深めながら虐待防止に努めている		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護などの制度の知識の習得は十分ではないので今後、研修などで知識を習得し支援に活用するようにする		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分説明を行い理解、納得していた 変更時にも十分な説明をしている		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情、意見等申し立ての機関を重要事項に明記し、契約時に説明している	家族の訪問時や家族会、運営推進会議で積極的に声をかけ意見や要望を聞いている。要望や苦情が伝えられた時には速やかに施設長に報告して対応している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の申し送りや全体会議等の場にて代表者や管理者は積極的に職員の意見を聞くように努めている	職員からの意見や提案は全体会議（法人の代表者が出席することもある）で聞いている。職員から「休暇を増やして欲しい」との要望があり、運営会議で5年以上勤務の職員に対して年1回の特別休暇を与えることが決められた。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が働きやすいように希望の公休設定を出来る限り聞き入れ、有給休暇も取得しやすいように配慮している また各種資格を取得させ給与水準を上げ、各自の向上心を高めるよう努力している		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修及び各種研修案内を職員に公表し積極的に参加するように促し、社内でも全職員対象の社内研修も行っている		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	毎月のグループホーム連絡会等の場にてネットワーク作りを行っている 複数事業連携事業に参加してサービスの質向上を図っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面接や体験入居を通じて本人の訴えや不安を受け止める努力をし、安心して利用してもらえるよう努力している		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス利用前から事前面接の機会などにて家族の不安、求めに対し、親身に受け止め信頼関係を築くことが出来るよう努めている		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族の要望を聞き入れ、何が必要であるか客観的に見極め対応している		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活の中で一緒に食事を作り掃除をしたり食材の買い物に行ったりしながら、職員と利用者が共に支えている関係作りが出来ている		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者本人がグループホームで落ち着いて楽しみのある生活を送れるよう、家族に面会に来ていただき職員と共に支えあう関係を築いている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>本人や家族とのコミュニケーションを通じて馴染みの人や場所への理解を深め、馴染みの関係を継続できるよう支援している 知人家族に手紙やはがきをだしたりお礼の電話をしたりつながりを保つ。</p>	<p>友人、知人の訪問時には居心地よく過ごせるように接客に配慮している。また、手紙のやり取り、電話の取り次ぎや入居前からの美容院、墓参り、法事、孫の結婚式に出かける支援をしている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者同士の相性、個性を把握して孤立しないよう努めている、レクリエーションや園芸療法などを積極的に行い利用者同士のよい関係を保つ支援をしている</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>サービス終了後も面会に行ったり、電話などにて相談に応じる従来の関係を断ち切らないように努めている</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活において常に利用者の立場になって、本人の意思、希望を優先したケアを行っている	利用者個々の思いや要望は入居時のアセスメントや日常生活の中で話を聞いている。意向の表出が困難な方については、日常の中で表情やしぐさを観察したり、食べ物なども選べるような対応をして把握している。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の事前面接にてアセスメントを行い、生活歴、生活環境、サービス利用の経過等把握するように努めている		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の利用者毎に一日の様子を記録し、申し送りや連絡ノートを活用などにより職員間で情報の共有化を図っている		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族の意向を十分に取り入れ、サービス担当者会議を行い、介護計画を作成している	介護計画は6ヶ月ごとに見直している。利用者や家族の要望を聞き、サービス担当者会議でモニタリングやアセスメントをもとに話し合い、医師や看護師の所見も取り入れて、利用者個々に合った介護計画を作成している。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の利用者ごとに毎日の生活の様子を記録し、さらに職員が気づいた点を連絡ノートに記録して情報を共有し、更には介護計画に反映させている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	事業所グループ内のガーデンデザイン専門学校、小規模多機能施設と連携をとっている		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	公民館、民生委員、ボランティア、警察、消防、地域包括センターなどの地域資源を把握し、活用しながら支援している		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診医療体制を取り入れ、定期的な受診援助を行っており、緊急時にも主治医の指示を仰ぐ体制をとっている	入居前からのかかりつけ医を受診している方は2名おり、家族または職員が同行している。協力医の診療は月2回、看護師は週1回または必要時に来訪し、利用者の健康管理や医療相談をしている。また、心身の変化や緊急時にはいつでも相談や対応が取れる体制がある。	
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師と情報を密にし利用者の健康を把握し、適切な受診、看護を受けられるように支援している		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院した場合は職員が度々訪問、見舞いを行い病院職員、家族との情報交換や相談に努めている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時より重度化した場合での本人、家族の希望について話し合いをしている。利用者の状態変化時にも主治医、家族、本人と話し合いをしている。運営推進会議の場で地域の関係者にも相談、報告している	利用者が重度化した場合について指針を作成し、入居時に本人や家族に説明して同意書を取り交わしている。看取りについては、家族の要望を踏まえて、医師、看護師と職員がチームとして取り組んでいる。過去に2回看取りを行っている。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	看護師及び応急手当普及員の職員から応急手当の訓練を受けたり、消防が行う救命講習を受けたりしている		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の防災訓練を実施しており、地域住民、消防も参加して対応している 緊急時の対応マニュアルも作成して職員全員に徹底している	消防署の協力の基に地域住民の参加を得て年2回避難訓練を行っている。うち1回は夜間を想定した訓練である。災害時の非常用食料、飲料水、備品などの備蓄及び建物内の防火設備、緊急連絡網は整っている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人一人は人生の先輩として人格を尊重した言葉かけ対応をして、プライバシーに配慮した対応をしている	職員採用時や全体会議の中で利用者の人格の尊重、プライバシーを損ねない言葉かけや態度について十分配慮するように指導している。利用者の個人情報に関する書類は事務室の書庫に保管している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	可能な限り個々の利用者の希望を聞き入れた対応をしている 大好きな飲み物をリクエストされたときには提供している		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者個々のペースを大切にして、希望に沿った日々を送る事ができるよう支援している		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	職員付き添いで美容院へ行ったり、訪問美容を受けるなどの支援をしている 季節に合わせたその人らしい洋服選び等の支援もしている		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が庭で育てた野菜を収穫し、食材の準備をし、調理したり、後片付けなどを一緒にしている	利用者と職員は食事の準備から後片付けまでを一緒に行っている。職員は介助の必要な方の隣に座り、見守りや介助をしている。水分量は必要な方のみチェック表に記入し、把握している。	さらなる取り組みとして、飲み込みの困難な方には、一旦料理を見てもらった上でから、改めて刻んで提供するなどの工夫が望まれる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の一人ひとりの嚥下状態及び食べる量や状態に合わせて普通食からミキサー食まで支援している		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	介助の必要な方には毎食後口腔ケアを実施、本人の能力に合わせた口腔ケアを行い、最低でも夕食後は全員が口腔ケアを行う支援をしている		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	A DLに合わせて極力トイレで排泄していただいております。夜間歩行の困難な方はポータブルトイレを使用、歩行が不可能な方はおむつ使用の支援をしています	排泄チェック表から利用者個々の排泄パターンを把握し、利用者に合わせて見守り、声かけ、誘導、介助を行い自立に向けた支援を行っている。失禁時にはさりげなくトイレや居室に誘導しクイックウォーマーで清拭して清潔を保つように努めている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維の多い食材を利用したり、散歩なども行い自力排便に心がけている 慢性的便秘の方は医師の指示で整腸薬、便秘薬を処方していただいている		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者一人ひとりの体調及び希望により入浴を促している 強制はせずに入浴してよかったと言ってもらえるようにしている 拒否のある方にはどのような声掛けで入浴できたか情報を共有している	利用者は週2～3回、日中に入浴している。利用者の希望があればいつでも入浴できる。入浴したがない方には、無理強いせず時間をおいたり、言葉かけに工夫して対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間良眠が出来るように昼間散歩や歌を歌うなど活動的な生活を支援し、身体が疲れている時は居室で休息していただいている		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者一人ひとりの服薬方法、目的は処方箋ファイルを確認しており症状の変化は毎日確認している		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者一人ひとりが充実した毎日を送れるよう調理の手伝い、歌、綾取り、散歩、風船バレー、買い物をしたりして楽しく生活できる支援をしている		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけるように支援している	天気の良い日には極力戸外へ出て花を見たり散歩、買い物等本人の希望を満たすようにしている	利用者の体調に合わせて散歩、買い物や食材の買出しに出かけている。また、地域の行事や車で季節の花見や水族館、公園などに出かけている。歩行の困難な方も車椅子と一緒に出かけている。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭トラブルが生じないように配慮して、能力に応じて各人のお金で買い物が出るようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者が家族等に電話をしたいと希望がある時はして頂いている、年賀はがき、暑中見舞いなどの葉書は制作して頂き、出している		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングには季節に応じた飾りつけや生花を活けたりし利用者が快適な生活を送れるように配慮している	玄関先には、季節の草花、内側には理念、花樹園芸の記録写真、鉢植えを置いている。リビングにはお雛様や利用者の作品を飾り生活感や季節感を取り入れて心地よく過ごせるように工夫している。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルと椅子、ソファ等を配置して利用者が自由に楽しくお話などを出来るようにしている		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	私物の持込の制限などは無く出来るだけ馴染みの物を持ち込むように促している 居室の家具の配置も本人が生活しやすいように本人の希望を取り入れている	居室にはクローゼット、エアコンが備え付けられている。利用者は使い慣れた、ベッド、整理ダンス、椅子やぬいぐるみ、家族の写真などを持ち込み安心して過ごせる部屋となっている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者個々の出来る事、わかることを活かせるよう手すりを付け、段差の解消し極力安全に自立した生活が送れるように工夫している		

平成 22年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1472201670	事業の開始年月日	平成16年4月1日
		指定年月日	平成16年4月1日
法人名	株式会社 湘南みどり園		
事業所名	グループホーム花樹		
所在地	(〒251-0003) 神奈川県藤沢市柄沢372		
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		エツト	2エツト
自己評価作成日	平成23年1月 24日	評価結果 市町村受理日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

『ゆっくりのこころ』を理念に掲げ、個々の利用者の生活ベースに合わせたケアを実践しています。
 利用者の方々と共に食事をつくり、初詣、節分、雛祭りなど各種行事を行い、普通の当たり前の生活習慣を取り入れています。
 健康管理面では利用者の能力に合わせた散歩や買い物等の外出による生活リハビリを促し、野菜・魚を多く取り入れた食事づくりを行っています。
 月に2回の訪問診療と何時でも対応していただける医療体制で利用者の健康管理を行っています。
 園芸療法の活動を通じて日々草花に接して季節感を感じ、ボランティアや学生さんなどと触れ合い会話する楽しみをもっています。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名			
所在地			
訪問調査日		評価機関 評価決定日	

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム花樹
ユニット名	花樹 2階

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	利用者の方々が安心して楽しく調和のとれた生活が送れるよう「ゆっくりのこころ」という理念を掲げて実践している		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域自治会活動や散歩時に地域住民に挨拶したり、防災訓練に利用者が参加し花火大会等の行事に地域住民が参加されて交流を図るなどをしている		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	複数事業連携メンバーの一員として地域住民に認知症ケア講座等を開催し認知症の理解や支援方法の理解を薦めている		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	定期的に運営推進会議を開催して、意見・提案などを取り入れサービス向上に活かしている		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	毎月のグループホーム連絡会の場などで市町村担当者と情報交換と、必要に応じて密接な連絡を行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアの実践に向け努力している 玄関は夜間以外開放されている。2階階段の鍵については家族に根拠を説明した上で施錠を行っている		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見 overs されることのないよう注意を払い、防止に努めている	虐待防止の研修に参加したり、マニュアルを職員に回覧して理解を深めながら虐待防止に努めている		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護などの制度の知識の習得は十分でないので今後、研修などで知識を習得し支援に活用するようにする		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分説明を行い理解、納得していただいている。変更時にも十分な説明をしている		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情、意見等申し立ての機関を重要事項に明記し、契約時に説明している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の申し送りや全体会議等の場にて代表者や管理者は積極的に職員の意見を聞くように努めている		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が働きやすいように希望の公休設定を出来る限り聞き入れ、有給休暇も取得しやすいように配慮している。 また各種資格を取得させ給与水準を上げ、各自の向上心を高めるよう努力している		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修及び各種研修案内を職員に公表し積極的に参加するように促し、社内でも全職員対象の社内研修も行っている		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	毎月のグループホーム連絡会等の場にてネットワーク作りを行っている。 複数事業連携事業に参加してサービスの質向上を図っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面接や体験入居を通じて本人の訴えや不安を受け止める努力をし、安心して利用してもらえるよう努力している		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス利用前から事前面接の機会などにて家族の不安、求めに対し、親身に受け止め信頼関係を築くことが出来るよう努めている		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族の要望を聞き入れ、何が必要であるか客観的に見極め対応している		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活の中で一緒に食事を作り掃除をしたり食材の買い物に行ったりしながら、職員と利用者が共に支えている関係作りが出来ている		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者本人がグループホームで落ち着いて楽しみのある生活を送れるよう、家族に面会に来ていただき職員と共に支えあう関係を築いている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人や家族とのコミュニケーションを通じて馴染みの人や場所への理解を深め、馴染みの関係を継続できるよう支援している		
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の相性、個性を把握して孤立しないよう努めている、レクリエーションや園芸療法などを積極的に行い利用者同士のよい関係を保つ支援をしている		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も面会に行ったり、電話などにて相談に応じる従来の関係を断ち切らないように努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活において常に利用者の立場になって、本人の意思、希望を優先したケアを行っている		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の事前面接にてアセスメントを行い、生活歴、生活環境、サービス利用の経過等把握するように努めている		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の利用者毎に一日の様子を記録し、申し送りや連絡ノートの活用などにより職員間で情報の共有化を図っている		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族の意向を十分に取り入れ、サービス担当者会議を行い、介護計画を作成している		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の利用者ごとに毎日の生活の様子を記録し、さらに職員が気づいた点を連絡ノートに記録して情報を共有し、更には介護計画に反映させている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	事業所グループ内のガーデンデザイン専門学校、小規模多機能施設と連携をとっている		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	公民館、民生委員、ボランティア、警察、消防、地域包括センターなどの地域資源を把握し、活用しながら支援している		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診医療体制を取り入れ、定期的に受診援助を行っており、緊急時にも主治医の指示を仰ぐ体制をとっている		
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師と情報を密にし利用者の健康を把握し、適切な受診、看護を受けられるように支援している		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院した場合は職員が度々訪問、見舞いを行い病院職員、家族との情報交換や相談に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時より重度化した場合での本人、家族の希望について話し合いをしている。利用者の状態変化時にも主治医、家族、本人と話し合いをしている。運営推進会議の場で地域の関係者にも相談、報告している</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>看護師及び応急手当普及員の職員から応急手当の訓練を受けたり、消防が行う救命講習を受けたりしている</p>		
35	13	<p>災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の防災訓練を実施しており、地域住民、消防も参加して対応している。 緊急時の対応マニュアルも作成して職員全員に徹底している</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人一人は人生の先輩として人格を尊重した言葉かけ対応をして、プライバシーに配慮した対応をしている		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	可能な限り個々の利用者の希望を聞き入れた対応をしている		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者個々のペースを大切にして、希望に沿った日々を送る事ができるよう支援している		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	職員付き添いで美容院へ行ったり、訪問美容を受けるなどの支援をしている。 季節に合わせたその人らしい洋服選び等の支援もしている		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が庭で育てた野菜を収穫し、食材の準備をし調理したり、後片付けなどを一緒にしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の一人ひとりの嚥下状態及び食べる量や状態に合わせて普通食からミキサー食まで支援している		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	介助の必要な方には毎食後口腔ケアを実施、本人の能力に合わせた口腔ケアを行い、最低でも夕食後は全員が口腔ケアを行う支援をしている		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	A D Lに合わせて極力トイレで排泄していただいております、夜間歩行の困難な方はポータブルトイレを使用、歩行が不可能な方はおむつ使用の支援をしている		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維の多い食材を利用したり、散歩なども行い自力排便に心がけている、慢性的便秘の方は医師の指示で整腸薬、便秘薬を処方していただいている		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者一人ひとりの体調及び希望により入浴を促している。強制はせずに入浴してよかったと言ってもらえるようにしている。拒否のある方にはどのような声掛けで入浴できたか情報を共有している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間良眠が出来るように昼間散歩や歌を歌うなど活動的な生活を支援し、身体が疲れている時は居室で休息していただいている		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者一人ひとりの服薬方法、目的は処方箋ファイルを確認しており症状の変化は毎日確認している		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者一人ひとりが充実した毎日を送れるよう調理の手伝い、歌、綾取り、散歩、風船パレード、買い物をしたりして楽しく生活できる支援をしている		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日には極力戸外へ出て花を見たり、散歩、買い物等本人の希望を満たすようにしている		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭トラブルが生じないように配慮して、能力に応じて各人のお金で買い物が出来るようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者が家族等に電話をしたいと希望がある時はして頂いている、年賀はがき、暑中見舞いなどの葉書は制作して頂き、出している		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングには季節に応じた飾りつけや生花を活けたりし利用者が快適な生活を送れるように配慮している		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルと椅子、ソファ等を配置して利用者が自由に楽しくお話などを出来るようにしている		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	私物の持込の制限などは無く出来るだけ馴染みの物を持ち込むように促している、居室の家具の配置も本人が生活しやすいように本人の希望を取り入れている		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者個々の出来る事、わかることを活かせるよう手すりを付け、段差の解消し極力安全に自立した生活が送れるように工夫している		

目標達成計画

事業所名 クル-フォーム花樹

作成日 平成23年5月14日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域の幼稚園、小中学校と交流したり、中高生との体験学習を受け入れ、利用者の地域の一員として日常的に交流できることを期待したい。	自治会を通じて子供会の児童と利用者の交流を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 自治会の総会に挨拶 (3月27日) 子供会役員との打ち合わせ (4月20日) カー交流会 (5月28日予定) 	1年間
2	5	2階ユニットの出入口の施設は、危険防止の体制を維持し、家族との話し合い可能な限り閉鎖したい。	利用者の安全を確保し、ユニットの出入口の閉鎖する時間を多くする。	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の比較的滞りやすい時間帯の閉鎖 センサーの設置等設備面での安全性確保の検討 	6ヶ月
3	15	食事と楽しむ支援として、飲み込みの困難の方には、料理を見てもらうことで、改めて刻んで提供するなど工夫をしてほしい。	きざみ食はミキサー食に比べ、利用者が食事と楽しむことが出来る取り組みをしたい。	<ul style="list-style-type: none"> きざみ食はミキサー食に比べ、お前に料理を見てもらう ミキサー食に比べ、食残の形に成形する 料理の名を教えるから食べてもらう 	即時対応
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。
注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。